

[江別市] 施策達成度報告書

政策 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 02 健康づくりの推進

主管課 保健センター

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境やライフスタイルの変化等による健康への関心の高まり・健康増進事業の参加者増。 ・健康で生きがいを持ち、自立して生活していくための健康づくりの意識の変化。 ・「健康な65歳」から「活動的な85歳」を目指した事業展開の構築 ・市民の医療と健康を守る医療体制の構築 ・老人保健と介護保険の事業の見直しにより、生活習慣病対策から生活機能低下対策へシフト。 ・医療制度改革に伴う特定健診・保健指導制度、後期高齢者医療制度への対応 ・予防接種、がん及び肝炎対策等の制度改正に関する国における検討の進展 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の生涯を通じた総合的な健康づくり事業と体制の整備 ・各年代ごとに、健康づくりに関わる情報発信の一元化 ・老人保健と介護保険の役割分担と事業の明確化 ・安心して子どもを産み育てられる環境の整備 ・地域連携による子育て支援への対応 ・地域医療に関わる病診連携と休日及び夜間の救急医療の確保 ・特定健診・保健指導制度、後期高齢者医療制度の制度運用と、健康づくり事業の円滑な推進 ・国の疾病予防対策事業の強化に対応した市としての取組の推進

施策の目的

医療体制を充実するとともに、心身の健康づくりを進めることによって市民一人ひとりが健やかに暮らし、心豊かな長寿を全うできることを目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民	意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)
	市民1人ひとりが健やかに暮らし、心豊かな長寿を全うできるよう、疾病や障がいを減らす(地域医療含む)。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
健康だと思う市民割合	%	82.5	76.5			↗
生活習慣病死亡率(人口10万人あたり)	人	429.3				400.0

施策の達成状況 (22年度)

総合的な健診受診率は、市の継続的な啓発活動に加え国の公衆衛生政策と連動した市の取組の効果もあり回復傾向にある。地域巡回健康教室の継続のほか、関係機関による市民が気軽にできる運動習慣定着のための取組も目立ってきており、健康意識の高まりが見られる。また、市民主体の健康づくり活動を推進する「地域健康づくり推進員」が関わる事業が一層充実してきた。国において予防接種、がん及び肝炎対策等の制度改正に関する検討が盛んに進められており、今後も、国の疾病予防対策に連動した取組を進めるとともに、医療・保健サービスに関する効果的な情報提供方法の工夫を続けることで、成果を向上させるよう努めていく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータル(千円)	4,043,234	4,101,351	4,370,713
事業費(千円)	3,635,719	3,708,829	3,978,889
人件費(千円)	407,515	392,522	391,824

01 疾病の早期発見、早期治療及び予防の促進

基本事業の目的

健康診査・がん検診を通して、疾病を早期に発見するとともに、生活習慣病予防のために、健診事後指導を強化することにより病気の予防、生活習慣の改善が図られます。

対象 (誰を対象とした指標か)

成人

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

健康診査などにより疾病の早期発見・早期治療を図ると共に、生活習慣病予防の実践と予防知識を習得してもらう。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
健康診査・がん検診の受診率	%	57.6	62.4			↗
健診等で異常を発見された人のうち、指導又は治療を受けた人の割合	%	93.5	84.9			↗
かかりつけの医師をもっている市民の割合	%	52.6	57.5			↗

基本事業の達成状況 (22年度)

総合的な健診受診率は、平成20年度には特定健診の実施主体が医療保険者へと移管されたことに伴う混乱もあり低下したが、21年度以降は、継続的な市の啓発活動に加え、ピンクリボン運動などに全国的な啓発活動の盛り上がりや国策としての女性特有がん検診推進事業の効果もあり、回復傾向にある。今後も身近な医療機関を通じた受診勧奨や健診制度の周知等に努めていく。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	154,310	199,839	312,514
事業費(千円)	125,682	168,002	281,153
人件費(千円)	28,628	31,837	31,361

02 健康づくり活動の推進

基本事業の目的

「自分の健康は自分で守る」ことを基本として、家庭、学校、職場、地域、医療機関と連携した健康づくり活動を推進します。また、生活習慣病予防などの健康教育・健康相談を充実します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

家庭、学校、職場、地域が主体となった健康づくり活動が推進され、健康増進や疾病予防に関する知識が身につく、個々人にあった健康づくりを実践する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
健康を維持するために実践している項目数	項目	4.59	4.60			↗

基本事業の達成状況 (22年度)

市内11カ所での地域巡回健康教室の継続、自主サークル活動の定着のほか、関係機関による市民が気軽にできる運動習慣定着のための取組が目立ってきており、健康意識の高まりが見られる。地域健康づくり推進員の活動では、地域的なまとまりで積極的にその地域の諸課題に対応した活動に取り組んでいるほか、江別、野幌、大麻の地区ごとにグループ化して講演会や運動教室などの事業が活発化しており、22年度は市と共同でウォーキングマップの作成を行った。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	45,442	43,627	43,073
事業費(千円)	8,516	8,566	9,266
人件費(千円)	36,926	35,061	33,807

03 母子保健の充実

基本事業の目的

妊産婦、乳幼児の健康管理のため各種健康診査を通して、母性保護と子の健やかな成長を図ります。また、両親学級や育児相談により、安心して子どもを産み育てることができる正しい知識が習得できます。

対象 (誰を対象とした指標か)

妊産婦、乳幼児と保護者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

親子が心身共に健康を保持・増進するための知識が得られ、具体的な方法がわかることで、実践できる。また、疾病の予防及び早期発見により健康障がいを防ぐことができる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
乳幼児健診(4ヶ月、10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳)平均受診率	%	96.5	96.6	96.8		97.0
乳幼児の健康診査に満足している人の割合	%	81.7		93.1		↗

基本事業の達成状況 (22年度)

乳幼児健診受診率は横ばいであるが高い水準を維持している。少子化が進展するなかで、各種健診や継続的な相談事業など、妊婦や乳幼児の健康保持増進及び保護者の育児力向上のため多くの取組を行い、安心して出産・子育てのできる環境づくりに努めている。地域子育てサロン、乳幼児虐待予防事業等の関係機関と連携した育児不安や困難感への支援を強化してきており、定性的には成果を上げてきている。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	186,173	186,225	199,896
事業費(千円)	145,098	147,134	160,389
人件費(千円)	41,075	39,091	39,507

04 医療体制の充実

基本事業の目的

休日や夜間に安心して適正な医療サービスが受けられるよう、関係機関と連携を図り救急医療体制の充実に努めるとともに、病診連携の強化などにより地域医療体制を充実し、多様化する医療ニーズに応えます。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

適正な医療サービスが受けられ安心できる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
休日当番対応医療機関数(内科小児科)	件	28	29	29		30
救急対応医療機関数(外科系)	件	6	6	6		6
人口10万人あたりの医師数	10万対、人	109.5				125.0

基本事業の達成状況 (22年度)

夜間急病センターの安定的な運営を図り、一次救急医療体制を確保している。市民の地域医療を確保については、病診・病病連携や、休日・夜間の当番医制の維持充実、救急医療として特に夜間の一次・二次救急体制の充実など、江別医師会をはじめ関係機関等との協力・連携強化に努めている。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	3,627,258	3,644,182	3,784,414
事業費(千円)	3,336,745	3,365,306	3,507,448
人件費(千円)	290,513	278,876	276,966